

● 絵本のはなし ●

英語でも日本語でも、絵本は楽しい!

飯田 朋子

千葉県南端にある館山市は、アメリカ、西海岸北部のワシントン州にあるベリンハム市と、1958年に姉妹都市関係を結び、以来50年以上の長きにわたり、さまざまな交流を行ってきました。

そのひとつに、「姉妹都市図書交流～Sister City Book Exchange～」があります。

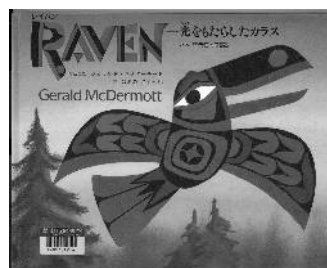
これは、館山市からは日本の絵本、ベリンハムからはアメリカの絵本を贈り合い、図書館でそれぞれの子どもたちに、英語と日本語の両方で読み聞かせを行うもので、平成23年から始まりました。

これを受け、日本語と外国語、両方の響きを味わい、姉妹都市に親しみを持ってほしいという思いから、毎年夏休み期間に、館山市図書館と国際交流を担当する市企画課が共催で「英語でたのしむおはなし会」を開催しています。企画課所属の国際化推進員が英語で、図書館職員が日本語で交互に読み聞かせをし、ベリンハムから贈られた絵本を紹介しています。

贈られた絵本について、翻訳されたものが日本で出版されていればそれを使って紹介するのですが、未翻訳の場合も時々あります。そんな時には、国際化推進員と図書館員とで、苦労しながら訳を作って、読み聞かせを行うこともあります。

27年度の会で読んだ『I'm a Frog!』（Mo Willems 作 2013）も、日本語訳が出ておらず、訳されていたシリーズの他の本を参考に、絵本の愛らしさとはずむ感じが出るよう、訳文を考えて読みました。

今回は、ベリンハムから贈られ、子どもたちに読んだ本の中から、いくつかご紹介します。



『RAVEN—光をもたらしたガラス』★

ジェラルド・マクダーモット 再話と絵はるみこうへい 訳 童話館出版

ベリンハムのあるアメリカ北西海岸沿いからアラスカまで、昔話によく出てくるのが「レイバン」、ワタリガラスです。闇に覆われていた世界を嘆いたワタリガラスが、天を治める頭の家に隠されていた光の玉（太陽）を盗み出し、すべての人に光を与えた、という民話です。印象的なシーンを英語と日本語で読み、あとはあらすじを説明しましたが、独特の色づかいで描かれたワタリガラスは、日本のカラスとはまた違う印象があり、子どもたちも不思議な世界にじっと見入っていました。



『アヒルだってば! ウサギでしょ!』★

エイミー・クローズ・ローゼンタール/トム・リヒテンヘルド 作 今江祥智 訳 サンマーク出版

原題は『Duck! Rabbit!』。アヒルなのかウサギなのか、見れば見るほど、どちらにも見えてくるだまし絵の絵本です。見ている子どもたちの

声も、アヒルとウサギ、真っ二つでした。シンプルな英語で書かれていますが、軽妙な訳が、英語と対比させると更におもしろみを持って響いてきます。



『ねこのピート だいすきなしろいくつ』

エリック・リトウィン 作 ジェームス・デーモン 絵 大友剛 訳 長谷川義史 文字画 ひさかたチャイルド

今ではシリーズが3作まで出ていますが、1作目にあたるこの本が届いたのは、日本語訳が出版された直後の事でした。何が起きてもしげずに前を向いて、楽しく歌って進む、ねこのピート。とてもリズムカルな英語で、参加した子どもたちと一緒に歌いながら、にぎやかに楽しく読み進めていきました。英語版、日本語版共に、よく借りられていく絵本のひとつです。



『むしゃ! むしゃ! むしゃ! ☆』★

カンダス・フレミング ぶん G・ブライアン・カラス え いしづちひろ やく BL出版

原題は『Muncha! Muncha! Muncha!』。庭に野菜を植えたマグリーリさんと、その野菜を狙う3匹のはらぺこウサギのおかしな攻防を描きます。少し長めの話なので、日本語で読み、途中

印象的な単語は英語を挟むような形を取りましたが、野菜の名前など知っている英単語を口にしたたり、時にはウサギと一緒にむしゃむしゃ、時には野菜を取られたマグリーリさんと一緒に怒ってみたり、子どもたちはストーリー展開をととても楽しんでいました。

館山市からは、これまで、「だいくとおにろく」(松居直 再話 赤羽末吉 画 福音館書店) や、「わにわにのおふろ」(小風さち ぶん 山口マオ え 福音館書店) などの絵本をベリンハム市に贈ってきました。どの絵本も楽しんでもらえているとのことですが、以前ベリンハム市の国際交流担当の方(本職は大工さん!)が来館した際、「わにわにのおふろ」は、ベリンハムの子どもたちにも大人気で、担当の方もお気に入りだと話していました。

絵本を通して、お互いの国を知ることのできるまたとない機会であるとともに、子どもにとって、楽しい本は国や言語が違ってても楽しいとわかるこの取り組みをこれからも長く続けていくことができればと願っています。

※タイトルの後ろに★のある図書は、現在入手が困難です。図書館をご覧ください。



▲「英語でたのしむおはなし会」の様子から (館山市図書館・管理係長)